



2025年

3月

中国四国農政局
鳥取県拠点

若手研修生が八頭町の 果樹園で奮闘中!!

研修生になった理由

渡辺 彌龍（わたなべ ひりゅう）さんは、神奈川県横浜市出身。昨年からは鳥取県八頭町に移住して八頭町果樹トレーニングファーム（TF）の研修生として梨や柿の栽培技術を学んでいます。

また、八頭町の地域おこし協力隊の一員としても活躍中です。

渡辺さんは、横浜市で飲食店の店長として働き、農業経験はありませんでしたが、地方への移住や食の源である農業に強い関心を持ち、TFに応募しました。



トレーニングファーム開講式での一コマ
左が渡辺さん、右は八頭町のマスコット
キャラクター やずぴよん（昨年10月）

これからの目標は

現在、渡辺さんは八頭町の先輩農家に弟子入りし、柿や梨の果樹栽培の指導を受けています。

渡辺さんは「農作業をするのは初めてなので、最初は分からないことだらけで戸惑ったが、だいたい慣れてきた。地元の方との交流も行っている。」と話し、これからの目標を尋ねると、「将来は、八頭町八東地区で一番おいしい梨や柿を作る人間になりたい。自分の背中を見て農業を目指す人が増えてくれればうれしい。」と頼もしい言葉が返ってきました。



柿の収穫や枝の手入れを習っています（昨年12月）

☆八頭町果樹トレーニングファーム（TF）

（財）八頭町農業公社が創設した果樹栽培の研修制度で、渡辺さんは第1期生です。令和6年10月から2年間の研修終了後には、農地の確保などの支援を通じて、独立して農業をスタートできるようサポートします。

女性農大生と女性農業者の交流会を開催！

令和7年2月20日、中国四国農政局鳥取県拠点・鳥取県立農業大学校との共催で、『私が地域でやりたい農業(こと)』～女性農大生と女性農業者の交流会～を開催しました。

この交流会は、農業への関心を一層高めるとともに、女性特有の悩みや不安を解消することにより、就農するきっかけづくりとすることを目的に、初めて開催しました。

交流会には、鳥取県立農業大学校の女性農大生10名と、株式会社兎ッ兎ワイナリー代表取締役の前岡美華子さん、JA鳥取中央倉吉西瓜生産部会の萬場清子さん、吉田牧場の吉田裕美さんの3名の女性農業者に参加いただきました。農大生からは、農業に携わるきっかけや、やりがい、家族や従業員との関わり方など、たくさんの質問が挙がり、女性農業者はご自身の経験や考えを丁寧に回答くださいました。また、交流会の最後には農大生へ向け、思いのこもったエールも送っていただきました。



交流会の様子

女性農業者から農大生へのエール



株式会社兎ッ兎ワイナリー
代表取締役 前岡 美華子 さん

女性が働くのは本当に大変なこと。女性が活躍するためには、まず男性の働き方を変えていかなければいけない。命があることは奇跡。頑張りすぎず自分なりの道を進んでいただき、どんな形でも一人ひとり命を輝かせていただきたい。



JA鳥取中央倉吉西瓜生産部会
萬場 清子 さん

農業に関心を持っている皆さんは本当に素晴らしい。人は宝。私が生き生きやっこられているのも色々な人の支えを受けながら、自分に素直になり、やりたいことをやっているのが大きい。不安や失敗は悪いことではないので、負けずに頑張ってください。



吉田牧場
吉田 裕美 さん

農業に興味を持ち学んでいる人達は宝物。農家だけの努力ではどうにもならない時代が来ているが、「農業ってええもんだ」と、これからも食を守るものとして伝えていきたいし、皆さんにも一緒に伝えていきたい。



記念撮影

交流会後の農大生の感想

- 適材適所、向き・不向きに合わせて作業を分担することが大事な反面、全員が一通りの作業内容を覚えることで、自ら商品を説明できるようになる強みも生まれるということが勉強になった。
- 女性農業者の皆さんが楽しそうにお話しされている姿を見て、将来の希望が持てた。
- 農業を始めたきっかけは結婚など自分の意志でない方もいたが、やりがいを感じ、また、モチベーションを保つ工夫をされて、それぞれが頑張っていることが伝わった。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線613) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>